

## 2016 年度 SSDS/JMAC 技術講演会のご案内

拝啓 皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日本モーダル解析協議会(JMAC)では、振動騒音、音質や感性評価などダイナミクス関連の実験や解析技術者への情報発信と若手エンジニアの育成を推進することを目的に、1991年発足から毎年技術講演会を開催して参りました。JMACは、2016年4月より一般社団法人スマートサウンドデザインソサエティ(SSDS)の一組織となり、技術講演会や技術基礎セミナーなどを開催しております。

2016年度SSDS/JMAC技術講演会は、「クリエイターとエンジニアによるサウンド共創」をテーマに、大学・産業界の第一線で活躍されている講師をお迎えして技術講演・研究事例発表を行います。また、併設展示会「サウンド&バイブレーションデザインフェア2016」や「ランチセッション」を通してCAEや振動・騒音対策などに関する最新の情報収集や意見交換ができ、産学官の人的交流に貴重な機会となります。是非ご参加頂き、日々の業務にお役立て下さい。

敬具

一般社団法人 スマートサウンドデザインソサエティ 代表理事  
中央大学 理工学部 教授 戸井 武司  
日本モーダル解析協議会 会長  
中央大学 理工学部 教授 大久保 信行

◆ 開催時間 9月1日(木)～2日(金)  
両日共 10:00～17:00

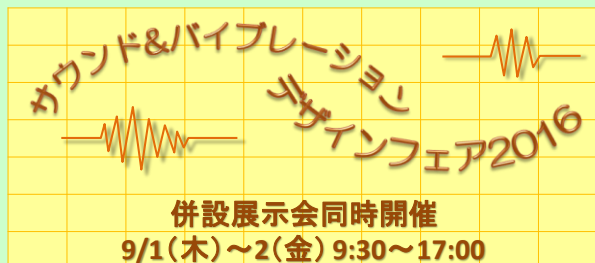
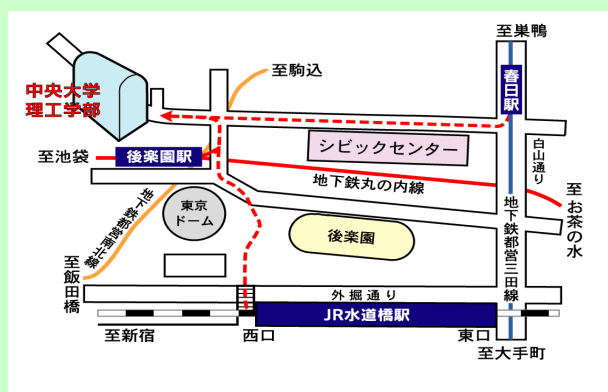
◆ 会場 中央大学理工学部(後楽園キャンパス)  
東京メトロ丸の内線・南北線「後楽園」徒歩5分  
都営地下鉄三田線・大江戸線「春日」徒歩7分  
JR総武線「水道橋」徒歩15分

◆ 参加費(2日間)  
SSDS 法人(3名様まで無料参加可)  
SSDS 個人 ¥12,000  
法人個人 ¥14,000(企業にお勤めの方1名参加)  
一般個人 ¥12,000(企業名の請求書は発行致しません)  
教育個人 ¥4,000(受付時に教員証、学生証の提示必須)

☆参加申込み等、詳しくは下記ホームページにアクセスをお願い致します。

日本モーダル解析協議会 <http://www.modal.jp/>

◆ 併設展示会 9月1日(木)～2日(金) 9:30～17:00 ※「2日目ランチセッション」有り  
「サウンド&バイブレーションデザインフェア2016」振動・騒音問題解決の専門展示会



〈2015 年度出展メーカー〉

アルテアエンジニアリング、エー・アンド・デイ、エステック、シーメンス、キーデバイス、システムプラス、静科、テクノスター、東陽テクニカ、富士セラミックス、フォーラムエイト、ブリュエル・ケアー・ジャパン、ポリテックジャパン、丸文

## 9/1(木)2016年度 SSDS/JMAC 技術講演会- I

9:30	— 受付・展示会 —
10:00	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *
10:00	<b>日本モーダル解析協議会(JMAC)25年間の活動における振動・騒音研究の変遷</b> 1991年第1回の JMAC 以前の「機械のダイナミクス」の研究も含め、今回までどのような研究発表が行われたかを振り返り、今後の展開について考察する。 中央大学 理工学部 教授/日本モーダル解析協議会 会長 大久保 信行
10:20	<b>基調講演 「IMAC の過去、現在および今後」</b> 2017年1月には第35回(年)を迎える IMAC(国際モーダル解析会議)のこれまでの議題を振り返り、今後はどのような方向に向うかを考察する。特にメカトロニクスが注目され、機械のダイナミクスへの展開を論じる。 IMAC 議長/バージニア工科大学 Prof. Al Wicks(Virginia Tech)
11:40	— ラボツアー(11:40-12:40)・休憩/展示会(11:40-13:30) — * 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *
13:30	* ラボツアー(大久保研究室・戸井研究室の最新研究紹介) 参加希望者は、受付にて事前登録ください *
13:30	<b>「五感の相乗作用を考慮した感性モデルに基づく感性価値の向上」</b> 聴覚、触覚、視覚など五感の相乗作用を考慮することで、感性価値が高められ、新たな感覚形成が可能となる。自動車、スポーツ、映像などの最新の研究事例を紹介する。 中央大学 理工学部 教授/(一社)スマートサウンドデザインソサエティ 代表理事 戸井 武司
14:15	<b>「日本やアメリカにおける音声学教育」</b> 調音の研究は生理学的な研究であり、音響には物理学の知識が必要である。日本やアメリカにおける音声学教育について紹介する。 慶應義塾大学 言語文化研究所 准教授 川原 繁人
15:00	— 休憩・展示会 —
15:30	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *
15:30	<b>「音楽スタジオの構造と音楽ができるまで」</b> 日本の音楽スタジオの代表格であるソニー・ミュージックスタジオの協力のもと、スタジオの設計意図の紹介と、レコーディングからミックスダウンまでの音楽制作のプロセスを実際に抜き出しながら”音”の変化を体感。サウンドデザインのヒントをあぶり出す。 (株)FOX-ONE 代表取締役/(一社)スマートサウンドデザインソサエティ 理事 藤澤 孝史
16:15	<b>「ハイレゾリューションオーディオの効果と実践」</b> ハイレゾリューションオーディオのもたらす効果とは?可聴帯域外の伝送の必要性は?1ビット系とマルチビット系をどう使い分ける?というテーマを中心に、クリエイター側エンジニア側の双方の視点から説明します。 (株)メガアルファ マスタリングエンジニア/なごみ研究所 代表 桑原 和男
17:10	CONFERENCE RECEPTION
19:00	情報交流の場です。是非ご参加ください。(無料)

## 9/2(金)2016年度 SSDS/JMAC 技術講演会- II

9:30	— 受付・展示会 —
10:00	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *
10:00	<b>基調講演 「車両の振動・音に関するアクティブ制御」</b> アクティブ制御は今や飛行機、車両などに盛んに活用されている。最近では音質改善についても適用範囲が広がり、電気あるいはハイブリッド自動車にも利用されている。これからはオーディオ装置の開発がキーとなる。 サウサンプトン大学 Prof. Stephen Elliott (ISVR, University of Southampton)
11:20	<b>「自動車騒音の品質、商品力について」</b> 自動車の騒音は安心・快適な移動にとって重要な性能の一つである。“もっと良いクルマ作り”を実現する為の注力点、考え方を開発事例と共に概説する。 トヨタ自動車(株) 先進技術開発カンパニー 車両技術開発部 動的性能技術開発室 駒田 匡史
12:05	— ランチセッション(12:10-12:50)・休憩/展示会(12:50-13:30) — * 昼食をご用意致しますので、各メーカーの新技術紹介/商品紹介をお聞かせください * * ランチセッション後は、展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *
13:30	<b>「ディスクブレーキ鳴き低減に向けた取り組み事例のご紹介」</b> ブレーキ鳴き低減はブレーキ開発における最重要課題の一つである。当社取組みとしてパッドの接触面圧分布の時系列解析、摩擦減衰、摩擦係数の速度負勾配を考慮した複素固有値解析によるブレーキ鳴き解析事例を紹介する。 日立オートモティブシステムズ(株) 技術開発本部 技術プラットフォーム室 CAE 技術開発部 橋本 空美
14:15	<b>「インタラクションを目的としたサウンド技術とデザイン -お風呂場での生活スタイルを対象として-」</b> ヒューマン・コンピュータ・インタラクションの分野における、サウンドを表現や入力に活用する研究について、浴室での具体的な応用例を中心に紹介する。そして技術とデザインを融合させたモノゴトの可能性について言及する。 京都産業大学 コンピュータ理工学部 准教授 平井 重行
15:00	— 休憩・展示会 —
15:30	* 展示コーナーにて各社の新製品をご見学ください *
15:30	<b>「音・音楽に関わる新技術とその事業化への取り組み」</b> 講演者は音・音楽に関わる研究開発とその事業化に長らく取り組んでいる。その中から、歌声合成システム VOCALOID や音のユニバーサルデザイン化支援システム「おもてなしガイド」等を紹介する。 ヤマハ(株) 研究開発統括部 新規事業開発部 剣持 秀紀
16:15	<b>「工業製品におけるサウンド共創」</b> 工業製品のサウンドデザインにおいては、クリエイターとエンジニアの協力が望まれる。しかし、芸術と技術の違いにより両者がうまくかみ合わない場合がある。本講演では自動車などを例にしてサウンド共創方法を考える。 サウンドデザインラボ(同)/ (一社)スマートサウンドデザインソサエティ 理事 前田 修
17:00	